

静かな年末年始に向けた共同メッセージ

この年末年始は、

- 「普段一緒にいる方」と「自宅」で過ごしましょう。
- 「普段一緒にいない方」との「会食は控えましょう」。

例年であれば、年末年始は、普段離れて暮らす家族や親戚、友人が集まって楽しく過ごすなど大切な時期です。

一方で、新型コロナウイルス感染症の感染リスクの観点から見ると、症状が無いため、本人が感染の意識をしないまま年末年始に帰省して、ふるさとの両親や祖父母と飲食をともにすることによって、意図せず、感染を拡大させるおそれがあります。

また、現時点においても、医療提供体制に大きな負荷がかかっている中、例年、多くの医療機関が休診となる年末年始において、これ以上、医療機関等の負担が増えれば、通常の医療や救命救急が受けられなくなるおそれもあります。

医療現場の負担を増やさず、私たちの医療を守るためにも、道民の皆様、道内に滞在される皆様一人ひとりが、症状が無くても「感染しているかもしれない」との危機意識を持ち、正月三が日までは、静かな年末年始としていただきますよう、ご協力をお願いします。

令和2年12月24日

北海道知事 鈴木直道
札幌市長 秋元克広
北海道市長会長 山口幸太郎
北海道町村会長 棚野孝夫